

令和2年度 大阪市立水都国際中学校 運営に関する計画

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、国家戦略特区を活用した公設民営の手法による、日本で初めての中高一貫教育であり、高等学校においては、国際バカロレア・ディプロマ・プログラムの認定校となっている。さらに、英語・数学・理科・グローバルスタディーズ（国際理解）等の各教科において英語を用いた授業を実施している。

しかしながら、入学してきた生徒の英語力の差は大きく、教員間で英語に課題がある生徒のサポート体制の構築を進めてはいるが、こうした課題をどのように解決していくのが喫緊の問題である。また、多様なバックグラウンドを持つ教職員と本校の教育理念を共有し、生徒たちと共に学校の文化を創っていく取り組みを進めている。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・ 令和3年度末の生徒アンケートにおける「将来の進路や生き方について考えたことがある」と答える生徒の割合を令和2年度からの2年間で全体の90%を目指す。
- ・ 令和3年度末の生徒アンケートにおいて、「この学校では中高一貫教育の特色が活かされた学校生活を送ることができる」と答える生徒の割合を、令和2年度からの2年間で全体の90%を目指す。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・ 令和3年度の大阪市英語力調査における、中学校卒業段階での英検準2級レベル以上の英語力を有する生徒の割合を80%以上にする。
- ・ 令和3年度の大阪市英語力調査における、中学校卒業段階での英検2級レベル以上の英語力を有する生徒の割合を50%以上にする。
- ・ 令和3年度末における授業アンケートで「授業について興味・関心・意欲が向上した」と答える生徒の割合を全体の90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- ② 校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を80%以上にする。
- ③ 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- ④ 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- ・ 年度末の生徒アンケートにおける「将来の進路や生き方について考えたことがある」と答える生徒の割合を全体の70%を目指す。
- ・ 年度末の生徒アンケートにおいて、「この学校では中高一貫教育の特色が活かされた学校生活を送ることができる」と答える生徒の割合を、全体の70%を目指す。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ① 中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ② 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。
- ③ 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
- ④ 校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より増加させる。

学校園の年度目標

- ・ 令和2年度の大阪市英語力調査における、中学校1年修了段階での英検3級レベル以上の英語力を有する生徒の割合を50%以上にする。英検準2級レベル以上の英語力を有する生徒の割合を20%以上にする。
- ・ 令和2年度の大阪市英語力調査における、中学校2年生修了段階での英検準2級レベル以上の英語力を有する生徒の割合を50%以上にする。英検2級レベル以上の英語力を有する生徒の割合を20%以上にする。
- ・ 年度末における授業アンケートで「授業について興味・関心・意欲が向上した」と答える生徒の割合を全体の70%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立水都国際中学校 令和 2 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>① 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。</p> <p>② 校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 80%以上にする。</p> <p>③ 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。</p> <p>④ 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p> <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の生徒アンケートにおける「将来の進路や生き方について考えたことがある」と答える生徒の割合を全体の 70%を目指す。 年度末の生徒アンケートにおいて、「この学校では中高一貫教育の特色が活かされた学校生活を送ることができる」と答える生徒の割合を、全体の 70%を目指す。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1：安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>○ 防災・減災教育の推進</p> <p>南海トラフ地震を想定した地震及び津波に関する知識を深め、自ら危険を回避するために主体的に行動する態度を養う。区と連携した防災カリキュラム作成・活用の推進を行う。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 火災・震災を想定した防火訓練、防災訓練をそれぞれ年に1回実施する。 	
<p>取組内容②【施策1：安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>○ 安全教育の推進</p> <p>安全（防犯）に対する心構えなどの指導を計画的に、継続的に実施し、安全確保のために必要な事項を実践的に理解できるようにする。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット、SNS等に関するオリエンテーション、継続的指導を実施する。 ・ 不審者対応に関する講演会、または研修等を年に1回以上実施する。 	
<p>取組内容③【施策2：道徳心・社会性の育成】</p> <p>○ 道徳教育の推進</p> <p>徳目を押し付けるような価値の注入教育ではなく、生徒がみずからの価値への「気づき」を目指す。その気づきによって生徒は、実践的な行動において価値の選択があり、選択した価値の違いによって行動の結果が、具体的にどのような違いを示すのかを認識できるようにすることを旨とする。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育推進委員会を中心に「特別の教科 道徳」のカリキュラムを作成し、実践する。 ・ 評価に関わる研修を年に1度以上実施する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立水都国際中学校 令和 2 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>① 中学生チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>② 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。</p> <p>③ 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。</p> <p>④ 校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を前年度より増加させる。</p> <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 2 年度の大阪市英語力調査における、中学校 1 年修了段階での英検 3 級レベル以上の英語力を有する生徒の割合を 50%以上にする。英検準 2 級レベル以上の英語力を有する生徒の割合を 20%以上にする。 令和 2 年度の大阪市英語力調査における、中学校 2 年生修了段階での英検準 2 級レベル以上の英語力を有する生徒の割合を 50%以上にする。英検 2 級レベル以上の英語力を有する生徒の割合を 20%以上にする。 年度末における授業アンケートで「授業について興味・関心・意欲が向上した」と答える生徒の割合を全体の 70%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5：子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>○ 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進 本校の教育理念である3E(Encourage, Engage, Empower)をもとに、社会に貢献する協創力をみがく。</p>	
<p>指標</p> <p>・ 中高合同の教員研修を学期に1回以上実施する。</p>	
<p>取組内容②【施策6：国際社会において生き抜く力の育成】</p> <p>○ 英語教育の強化 英語・数学・理科・グローバルスタディーズ(国際理解)等の各教科において英語を用いた授業を実施する。</p>	
<p>指標</p> <p>・ 授業を通して、英語を活用したプレゼンテーションを英語・数学・理科・グローバルスタディーズ(国際理解)等の各教科において実施する。</p>	
<p>取組内容③【施策番号、施策名】</p> <p style="text-align: right;">()</p>	
<p>指標</p>	
<p style="text-align: center;">年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p style="text-align: center;">次年度への改善点</p>	
<p style="text-align: center;">次年度への改善点</p>	

(様式例3)

令和 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 (学校園名) 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--